



守りたい 守れる力
Wishing for Your Safety

蓄圧式・業務用 粉末(ABC)消火器
自動車用シリーズ

車輻火災を迅速、確実に消火します!

ヤマトプロテックの自動車用消火器が全て蓄圧式でラインナップ!

車輻火災を迅速かつ確実に消火し、
大切な積荷を守ります。

取り外しワンタッチの専用ブラケット(保持装置)で
しっかり固定しているので、車の振動に強く、快適な安全走行をアシストします。



YAM-4XII
4型 1.8kg STOP
本体価格(税別)
13,500円



YAM-10XII
10型 3.5kg STOP
本体価格(税別)
18,500円



YAM-20X
20型 6.0kg STOP
本体価格(税別)
26,700円

自動車用・粉末(ABC)消火器

業務用消火器(蓄圧式)

国家検定合格品/グリーン購入対象製品

MULTIPURPOSE DRY CHEMICAL FIRE EXTINGUISHER for CAR USE

車の振動に強い

- 取り外しワンタッチの専用ブラケット(保持装置)でガッチリ固定。
耐食性に優れてサビにくいSUS304(ステンレス)製
- 指示圧力計ゲージは金属製カバーでしっかりガード。
衝撃からゲージを保護するために、ヤマトプロテックでは金属製カバーを採用。



- A(普通)火災・B(油)火災・C(電気)火災やプロパンなど、あらゆる原因の初期火災をスピード消火。

使用方法

- 1 安全栓を引き抜く
PULL OUT SAFETY PIN.
- 2 ホースをはずし火元に向ける
RELEASE HOSE, AIM AT BASE OF FIRE.
- 3 レバーを強くにぎる
SQUEEZE LEVERS.

- 放射を一時的にストップできるストップ機構付き。
レバーを離すと放射が止まります。



自動車用粉末(ABC)消火器

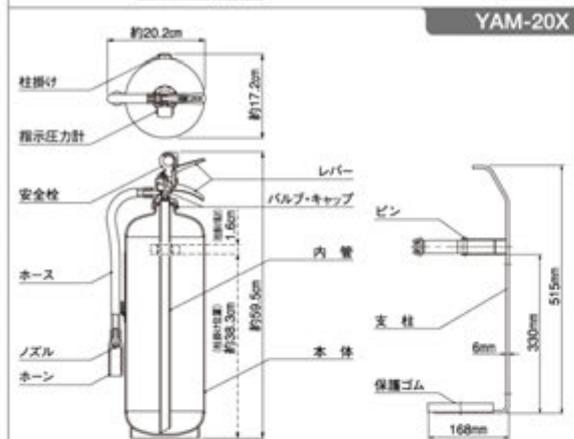
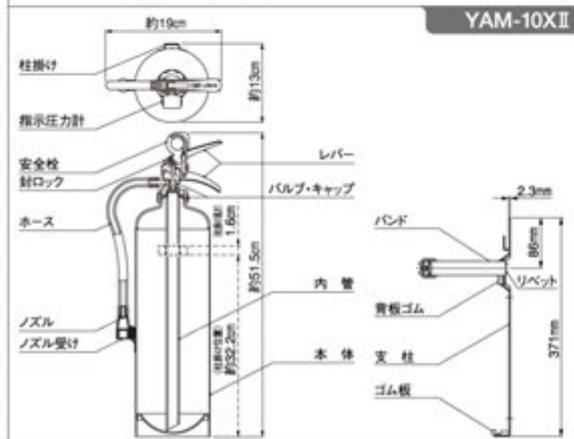
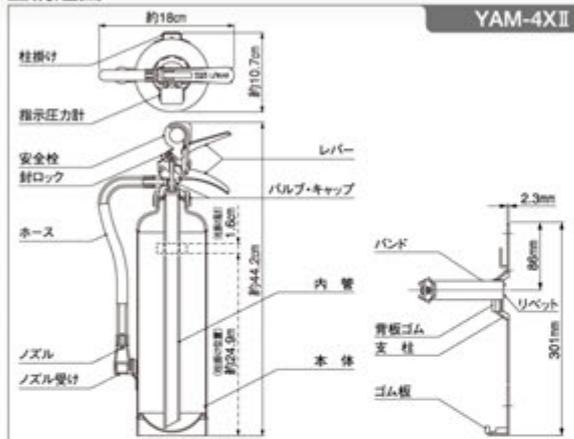
業務用 蓄圧式 国家検定合格品
グリーン購入対象製品

YAM-4XII・10XII・20X



再生消火薬剤を90%以上使用
回収およびリサイクルシステムを持つ
認定番号10127003号

■構造図



■仕様

	YAM-4XII	YAM-10XII	YAM-20X
総質量	約3.60kg	約6.02kg	約10.65kg
薬剤質量	1.8kg	3.5kg	6.0kg
全高	約44.2cm	約51.5cm	約59.5cm
全幅	約18cm	約19cm	約20.2cm
放射時間(20℃)	約14秒	約14秒	約18秒
放射距離(20℃)	4~6m	4~7m	4~7m
能力単位	A-1・B-3・C	A-3・B-7・C	A-5・B-12・C
使用温度範囲	-30℃~+40℃	-30℃~+40℃	-30℃~+40℃
型式番号	消自第28~1号	消自第27~13号	消自第24~2号

あらゆる火災をスピード消火

木材や紙などが燃えるA(普通)火災はもちろん、B(油)火災、C(電気)火災やガス火災など、あらゆる原因の出火をスピード消火します。

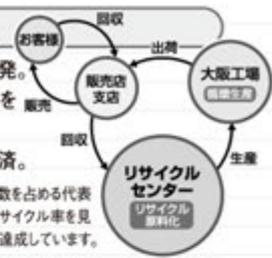


断続放射が可能なストップ機構付ですので、効果的に消火活動ができます。(一度でも放射した場合は、必ず再充てしてください)

※粉末(ABC)消火器の消火薬剤は、リン酸二水素アンモニウムを主成分とした超微粒子です。

YPRリサイクルシステム

- ヤマトプロテックが独自に開発。
- リサイクル率は、現在100%を達成しています。
- 日本消防検定協会の承認済。



※消火器生産数の過半数を占める代表機種[YA-10NX]でリサイクル率を見た場合、質量比100%達成しています。

回収された消火器の部材はリサイクルされます。不用になった消火器を処分する場合は、必ず販売店か製造元にご相談ください。

道路運送車輛の保安基準により、消火器を備えなければならない自動車

1. 火薬類(第51条第2項各号に掲げる数量以下のものを除く)を運送する自動車(被けん引自動車を除く)。
2. 危険物(政令別表に掲げる数量以上)の危険物を運送する自動車(被けん引自動車を除く)。
3. 別表第一に掲げる数量以上の可燃物を運送する自動車(被けん引自動車を除く)。
4. 150kg以上の高圧ガス(可燃性ガスおよび酸素に限る)を運送する自動車(被けん引自動車を除く)。
5. 前各号に掲げる火薬類、危険物、可燃物又は高圧ガスを運送する自動車をけん引するけん引自動車。
6. 放射性物質を運送する自動車
7. 乗車定員11人以上の自動車
8. 乗車定員11人以上の自動車をけん引するけん引自動車
9. 幼児専用車

○上記1~5までの自動車に積む消火器

対象運送物品	火薬類						危険物					可燃物		高圧ガス		
	第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類	第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類	第七類	第八類	第九類	第十類
適応消火器																
霧状の強化液を放射する消火器で充てん量が8リットル以上のもの	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
炭酸ガスを放射する消火器で充てん量が3.2キログラム以上のもの							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
一塩化一臭化メタンを放射する消火器で充てん量が2リットル以上のもの							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
二酸化四ふっ化エタンを放射する消火器で充てん量が1リットル以上のもの							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
消火粉末を放射する消火器							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
リチウム酸塩類等の充てん量が3.5キログラム以上のもの							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ナトリウム又はカリウムの重量濃度の充てん量が3.5キログラム以上のもの							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※●印は「対象運送物品」の欄に掲げるものに、当該左欄に掲げる「消火器」がそれぞれ「適応」するものであることを示す。

○上記6~9までの自動車に積む消火器

1. 霧状の強化液を放射する消火器で、充てん量が6リットル以上のもの
2. 炭酸ガスを放射する消火器で、充てん量が2.2キログラム以上のもの
3. 一塩化一臭化メタンを放射する消火器で、充てん量が1リットル以上のもの
4. 二酸化四ふっ化エタンを放射する消火器で、充てん量が0.4リットル以上のもの
5. 消火粉末を放射する消火器で、充てん量が1.8キログラム以上のもの

○自動車に備える消火器は、次の基準に適合するものでなければならない。

1. 消火器は、構造および性能が消防法第21条の2第2項に規定する技術上の規格に適合すること
2. 消火器は、自動車の走行中の振動・衝撃等により、損傷を生じ又は作動するものでないこと

■液化石油ガス、可燃性高圧ガスおよび酸素・三フッ化窒素の充てん容器を車輛に積載して移動する場合には消火器が必要となります。

移動するガス量による区分	消火器の種類		備付け個数
	消火薬剤の種類	能力単位	
1,000kgを超える場合	粉末消火薬剤	B-10以上	2個以上
150kgを超え1,000kg以下の場合	粉末消火薬剤	B-10以上	1個以上
150kg以下の場合	粉末消火薬剤	B-3以上	1個以上

■車輛に固定した容器(タンクローリー)により移動する場合。

ガスの区分	消火器の種類		備付け個数
	消火薬剤の種類	能力単位	
可燃性ガス・LPガス	粉末消火薬剤	B-10以上	車輛の左右それぞれ1個以上
酸素・三フッ化窒素	粉末消火薬剤	B-8以上	それぞれ1個以上

保持装置の設置についてのご注意

設置の際は、必ず下記要領に従って設置してください。誤った方法で設置された場合、バンドが外れる恐れがあります。保持装置の設置は、必ずボルト・ナット(推奨ボルト®)又は同等以上の強度を有するものなどで、全ての取付穴を使用して確実に固定してください。

1. 設置方法



2. 取付注意事項
- 不安定な場所には、設置しないでください。
 - 設置面の状態、取付ネジによっては十分な保持力を得られない場合があります。
 - 保持装置を確実に固定していないと消火器の脱落や誤放出の原因となります。
 - 全ての取付穴を固定しない場合、特定箇所に荷重が集中し脱落等の原因となります。

取付穴のピッチ・個数は、保持装置の変更により変わる場合があります。

※自動車用粉末消火器 推奨ボルト
4型: M5サイズ 10型・20型: M6サイズ

■詳細な取扱説明書をダウンロード出来ます。 http://www.yamatoprotec.co.jp/product_matrix/

▶消火器は目立つところに設置してください。

- 消防法第17条の3の3に基づき6カ月に1回以上の点検を、消防設備士等の資格を有する人に依頼して行うようにしてください。
- 1度放射されたら、ただちに消火薬剤を詰替えてください。試し放射はしないでください。
- ※ストップ付の消火器は、放射を一時的にストップすることができます。ただし、長時間放置していると、圧力ガスが漏れて使用できなくなりますので、一度使ったものは最後まで放射してください。使用後は、ただちに新しい消火薬剤の詰め替えを専門の業者に依頼してください。
- ※カタログ掲載商品は改良などのため、予告なく仕様・規格変更を行うことがあります。ご了承ください。

ヤマトプロテック株式会社

本社 東京都港区白金台5-17-2 ホームページ <http://www.yamatoprotec.co.jp>
大阪・名古屋・札幌・仙台・さいたま・静岡・広島・尾道・四国・福岡・鹿児島/大阪工場・東京工場・中央研究所

※このカタログは、再生紙を使用しています。

●あらゆる防災設備・機器のご寿命は下記へ……………